

井上薫博士 履歴及び業績目録

年 譜

- 大正 六年 三月二十八日 大阪府北河内郡南郷村赤井（現大東市）に生れる。
- 昭和 一二年 三月三十一日 旧制浪速高等学校文科乙類卒業
- 昭和 一五年 三月三十一日 東京帝国大学文学部国史学科卒業
- 昭和 一五年 四月三〇日 東京帝国大学文学部大学院入学
- 昭和 一五年 六月 一日 財団法人聖徳太子奉讃会研究生に採用され、国分寺の研究に従事。
- 昭和 一七年 五月三十一日 財団法人聖徳太子奉讃会における研究期間終了。
- 昭和 一五年 六月 一日 黒板勝美博士編輯国史大系編纂業務に従事。
- 昭和 一八年 三月三十一日 依願退職
- 昭和 一八年 四月二十九日 東京帝国大学文学部大学院退学
- 昭和 一九年 一月 八日 大阪市立汎愛中学校教諭嘱託
- 昭和 一九年 五月一日 大阪第一師範学校教授嘱託（常勤）
- 昭和 二二年 九月一六日 浪速高等学校教授嘱託（常勤）
- 昭和 二二年 四月一六日 任文部教官、補浪速高等学校教授
- 昭和 二四年 六月三〇日 補大阪大学助教授（教養部）
- 昭和 三〇年 四月 一日 大学院文学研究科史学専攻授業を命ぜられる。
- 昭和 三二年 四月 一日 武庫川女子大学文学部へ出講（昭和三二年度も同じ）

昭和三七年	三月三十一日	文学博士の学位授与（東京大学）
昭和三八年	四月一日	檀原考古学研究所研究員を委嘱される（奈良県教育委員会）
昭和三八年	九月一日	大阪大学教授（教養部）に昇任
昭和四〇年	四月一日	愛泉女子短期大学へ出講（昭和四一、四二、四三、四四、四五年度も同じ）
昭和四三年	四月一日	帝塚山女子大学文学部へ出講（昭和四四、四五年度も同じ）
昭和四五年	四月一日	関西大学文学部へ出講（昭和四六年度も同じ）
昭和四六年	四月一日	高野山大学文学部へ出講（昭和四七、四八年度も同じ）
昭和四八年	四月一日	神戸大学文学部へ出講（昭和五三年度も同じ）
昭和五二年	一〇月一日	四天王寺女子大学文学部へ出講
昭和五三年	四月一日	大阪府立大学総合科学部へ出講（昭和五五年度も同じ）
昭和五四年	四月一日	指定職（大阪大学）
昭和五四年	四月一日	龍谷大学文学部へ出講（昭和五五年度も同じ）
昭和五五年	四月一日	停年により大阪大学を退官
昭和五五年	四月一日	大手前女子大学文学部へ出講
昭和五五年	四月二日	大阪大学名誉教授の称号を授与される。
昭和五五年	四月二日	奈良大学文学部教授（文化財学科）に任せられる。
昭和五八年	四月一日	堺市博物館長嘱託（現在に至る）
昭和六〇年	八月一日	狭山池調査委員会委員
昭和六一年	三月三十一日	奈良大学文学部教授を依願退職
昭和六一年	一月八日	財団法人聖徳太子奉讃会理事

著作目録

A 著書

行基

日本古代の政治と宗教

奈良朝仏教史の研究

古代史の群像

近世の摂河泉

昭和三四年 七月

昭和三六年 七月

昭和四一年 七月

昭和五五年 五月

吉川弘文館刊

創元社刊

B 共著

河内における古墳の調査

昭和三九年 三月

共著者 藤直幹・北野耕平

発行 大阪大学文学部国史研究室

C 編著

長宝寺縁起

昭和四八年 五月

長宝寺（大阪市平野区）発行

大阪の歴史

昭和五四年 九月

創元社刊

D 共編著

大学日本史（上・下巻、年表）

昭和二九年 五月

昭和三〇年 五月

共編著者 阿部真琴・今井林太郎

刊行 吉川弘文館

入門日本史（上・下巻）

昭和三九年 五月

昭和四〇年 六月

共編著者 阿部真琴・永島福太郎

刊行 吉川弘文館

堺絵年表
日本史要論
昭和四四年 三月 共編著者 関英夫・岸谷勢造 市制八〇年記念堺市発行
昭和四六年 六月 共編著者 木村武夫・有坂隆道 刊行 ミネルヴァ書房

E 共 監 修

堺の歴史（中学訓読本）

昭和二七年 六月 共監修者 藤直幹・津田秀夫 著者 堺市教育委員会事務局指導室

印刷 大阪書籍株式会社

F 論 文

* 日本書紀仏教伝来記載考（上・下）

昭和一七年 二月
昭和一八年 二月
昭和一九年 七月
昭和二一年 七月
昭和二六年 二月
昭和二六年 九月
昭和二八年 三月
昭和二九年 三月
昭和二九年 七月
昭和三〇年 二月
昭和三〇年 三月
昭和三一年 三月

「神道」考

昭和一七年 四月
昭和一八年 二月
昭和一九年 七月
昭和二一年 七月
昭和二六年 二月
昭和二六年 九月
昭和二八年 三月
昭和二九年 三月
昭和二九年 七月
昭和三〇年 二月
昭和三〇年 三月
昭和三一年 三月

* 日本書紀に於ける仏教思想の研究

昭和一九年 七月 常盤大定編『日本仏学論叢』第一輯

* 国分寺創建に於ける道慈の業績

昭和二一年 七月 『帝国学士院紀事』第四卷第二号

古代仏教制度論

昭和二六年 二月 藤直幹編『古代社会と宗教』若竹書房刊

ひじり考

昭和二六年 九月 『ヒストリア』第一号

封建崩壊期における畿内小藩の動揺

昭和二八年 三月 『ヒストリア』第六号

* 狭山藩の農兵

昭和二九年 三月 大阪大学南北校『研究集録』第二輯

* 宮城十二門の門号と乙巳の変

昭和二九年 七月 『続日本紀研究』第一卷第七号

東大寺大仏造願思想に関する試論

昭和三〇年 二月 『続日本紀研究』第二卷第一号

行基の布施屋と貢調運脚夫

昭和三〇年 三月 『日本歴史』第八二号

* 近世畿内山村生活の一断面

昭和三〇年 三月 大阪大学南北校『研究集録』第三輯

* 造宮省と造京司

昭和三一年 三月 大阪大学南北校『研究集録』第四輯

- 大仏造頭をめぐる政治的情勢
行基伝の諸問題
* 光明皇后と皇后宮職
* 紫香樂宮
大野寺土塔原形考
* トネリ制度の一考察
* 舍人制度の一考察
* 奈良朝写経所の一考察
阿倍仲麻呂・鑑真
* 和泉監正税帳について(上・下)
* 和泉監正税帳の復原をめぐる
天平初期の写経所
応神朝の二、三の問題
弓削道鏡
日本書紀仏教伝来記載の思想
狭山池所と勤操
外来文化摂取の姿勢と態度
推古朝の諸問題
時ならぬ浪花の花火
仏教の浸透
続日本紀
- 昭和三二年 六月 「ヒストリア」第一五号
昭和三二年 三月 大阪大学南北校「研究集録」第五輯
昭和三二年一〇月 「ヒストリア」第二〇号
昭和三四年 六月 「南都仏教」第六号
昭和三四年 七月 魚澄先生古稀記念会編「国史学論叢」
昭和三五年 一月 大阪大学南北校「研究集録」第八輯
昭和三五年一〇月 大阪歴史学会編「律令国家の基礎構造」 吉川弘文館刊
昭和三五年一〇月 伊東多三郎編「国民生活史研究」(四) 吉川弘文館刊
昭和三六年 四月 川崎庸之編「日本人物史大系」第一卷 朝倉書店刊
昭和三六年 八月 吉川弘文館刊
昭和三六年 八月 吉川弘文館刊
昭和三七年 九月 坂本太郎博士還暦記念会編「日本古代史論集」下巻 吉川弘文館刊
昭和三九年 五月 「日本歴史」第一九二号
昭和三九年 一月 日本歴史学会編「歴史と人物」 吉川弘文館刊
昭和四〇年 四月 井上光貞編「大和奈良朝」人物往来社刊
昭和四〇年 六月 「続日本紀研究」第一二七号
昭和四一年 二月 「仏教史学」第一二卷第三号
昭和四二年 四月 「日本史の研究」第五七輯 山川出版社刊
昭和四二年一〇月 末永先生古稀記念会編「古代学論叢」
昭和四五年 四月 木村武夫先生還暦記念会編「日本史の研究」
昭和四六年 一月 竹内理三編「古代の日本」I(要説) 角川書店刊
昭和四六年 三月 坂本太郎等編「国史大系書目解題」上巻 吉川弘文館刊

三代実録

和泉離宮と網曳御厨

郡寺と国分寺

高松塚論三題

坂上氏の長宝寺所蔵の逆修講縁起

坂上氏の長宝寺所蔵のよみがえりの草紙

子日目利算小考

神々の世界と仏の世界

都祁の水池と氷室

太安万侶の墓誌をめぐって

和泉国大野寺土塔の源流

鑑真伝の諸問題

流沙と漆胡瓶・漆胡樽

太安万侶の墓地と墓誌

狭山池修理をめぐる行基と重源

行基の勧進・日本国地図・土塔

東大寺大仏の造営

昭和四六年 三月

昭和四六年 二月

昭和四七年 七月

昭和五〇年 五月

昭和五〇年 二月

昭和五一年 九月

昭和五三年 三月

昭和五四年 九月

昭和五四年 二月

昭和五五年 三月

昭和五七年 三月

昭和五八年 三月

昭和五八年 七月

昭和五九年 二月

昭和五九年 二月

昭和六〇年 六月

昭和六一年 七月

坂本太郎等編『国史大系書目解題』上巻 吉川弘文館刊

大阪府史編集室編『大阪府の歴史』創刊号

坂本太郎博士古稀記念会編『続日本古代史論集』上巻 吉川弘文館刊

時野谷勝教授退官記念会編『日本史論集』 清文堂刊

『檀原考古学研究所論集』第六 吉川弘文館刊

横田健一先生還暦記念会編『日本史論叢』

『龍谷史壇』第七三、七四合併号

亀田隆之編『古代の地方史』3 畿内編 朝倉書店刊

『ヒストリア』第八四号

大阪大学教養部『研究集録』第二八輯

奈良大学『文化財学報』第一集

奈良大学『文化財学報』第二集

藤沢一夫先生古稀記念論集『古文化論叢』

『檀原考古学研究所論集』第七 吉川弘文館刊

『奈良大学紀要』第一三三号

末永先生米寿記念『献呈論文集』

角田文衛編『新修国分寺の研究』第一巻 東大寺と法華寺 吉川弘文館刊

* 印は修正加筆し著書『日本古代の政治と宗教』に、
** 印は一部修正し著書『奈良朝仏教史の研究』に収録

G 小論考

河内に於ける古事記の遺跡

御代賑一塚のお札降り―

統紀記事の脱漏・誤謬・錯乱

大官大寺から大安寺へ

税斂法について

「平章」について

奈良時代の印章

「平章」補遺

金鐘寺の位置と沿革

相模国の布施屋

行基と鑑真

統紀記事の編年的整理および備要
(文武元―和銅七年)

統紀記事の編年的整理および備要
(靈龜元―養老七年)

統紀記事の編年的整理および備要
(神龜元―天平七年)

統紀記事の編年的整理および備要
(天平八―天平一二年)

統紀記事の編年的整理および備要
(天平一三年―天平二〇年)

天平十二年の内蔵寮解

昭和一二年二月

昭和二七年一〇月

昭和二九年二月

昭和二九年五月

昭和二九年一〇月

昭和三〇年九月

昭和三〇年一月

昭和三〇年一月

昭和三一年一月

昭和三一年二月

昭和三一年一〇月

昭和三二年三月

昭和三二年四月

昭和三二年九月

昭和三三年三月

昭和三三年八月

昭和三三年一〇月

『上方』第八四号

『日本歴史』第五三号

『続日本紀研究』第一卷第二号

『続日本紀研究』第一卷第五号

『近世史研究』第一卷第二号

『続日本紀研究』第二卷第九号

『続日本紀研究』第二卷第一一号

『日本歴史』第九一号

『続日本紀研究』第三卷第二号

家永三郎編『日本仏教思想の展開』

『続日本紀研究』第四卷第三号

『続日本紀研究』第四卷第四号

『続日本紀研究』第四卷第九号

『続日本紀研究』第五卷第三号

『続日本紀研究』第五卷第八号

『日本歴史』第一一二号

平楽寺書店刊

- 兵衛の位階について
菅原清公伝二題
地黄に関する一、二の史料
穴師神社の一考察
大三輪神社と神酒
大槻如電の書きこみがある「河内国土古水土考」
日本書紀三題
続日本紀の任官記事
中国史書日本伝二題
邪馬台国研究の問題点
蝦夷の首領二人が斬られた場所
岡部長著墓誌
行基の伝道と開発
白鳳・奈良朝の黄文画師
永代大雑書万暦大成にみえる噂々如律令
高松塚壁画と皇大神宮行列絵巻
日本後紀の僧善議の伝記
仏教関係文書（写経所文書、写経奥書）
国家珍宝帳の願文三題
茅渟道の沿辺
- 昭和三四年 八月
昭和三六年 九月
昭和三六年一〇月
昭和三七年 三月
昭和三七年 六月
昭和三七年 九月
昭和三九年 七月
昭和四一年 九月
昭和四三年一〇月
昭和四四年 六月
昭和四五年 七月
昭和四五年一二月
昭和四六年 五月
昭和四七年一〇月
昭和五〇年 二月
昭和五一年一月
昭和五三年 三月
昭和五三年 九月
昭和五三年一〇月
昭和五三年一二月
- 「続日本紀研究」第六卷第八号
「続日本紀研究」第八卷第九号
「日本歴史」第一六〇号
檀原考古学研究所編「近畿古文化論攷」 吉川弘文館刊
「続日本紀研究」第九卷第四・五・六合併号
「日本歴史」第一七二号
「日本歴史」第一九四号
「国史大系月報」第五三号
「日本歴史」第二三八号
「歴史読本」第一四卷第六号
北法相宗教学部編「清水」第二二二号
岸和田市史編さん委員会編「岸和田市史紀要」第一号
「日本史の研究」第七三号 山川出版社
檀原考古学研究所編「壁画古墳高松塚」奈良県教育委員会・奈良県明日香村発行
「日本歴史」第三二一号
「日本歴史」第三四二号
「天理図書館善本叢書月報」三九 八木書店刊
「日本古文書学講座」第二卷 古代編Ⅰ 雄山閣刊
「日本美術全集」5別冊「正倉院」 学習研究社刊
「続日本紀研究」第二〇〇号

風土記断想

統日本紀と東大寺献物帳

昭和五四年 六月

「続真言宗全書会報」第一四号

大雁塔と小雁塔が奈良仏教に与えた影響

昭和五八年二月

「統日本紀研究」第二三〇号

昭和六二年 一月

檀原考古学研究所編「青陵」六一号

H 学界動向

最近の法隆寺研究

昭和二五年 四月

「芸林」第一卷第一号

一九五五年の歴史学界―回顧と展望(宗教関係)―

昭和三一年 五月

「史学雑誌」第六五編第五号

婦化人研究の批判一齣

昭和三三年二月

「歴史評論」第一〇〇号

最近における継体・欽明朝研究の動向(上)

昭和三三年二月

「統日本紀研究」第五卷第一二号

一九六一年の歴史学界―回顧と展望(宗教関係)―

昭和三七年 五月

「史学雑誌」第七一編第五号

一九三六年の歴史学界―回顧と展望(宗教関係)―

昭和三九年 五月

「史学雑誌」第七三編第五号

邪馬台国問題と研究の現状

昭和四四年 一月

「日本歴史」第二四八号

I 叢書・市町史分担執筆

仏教(南都六宗、国分寺の創建、東大寺大仏の造願)

昭和三一年一月

久野健等編「図説日本文化史大系」3 奈良時代

小学館刊

古代前期―封建後期の社会事業

昭和三三年 三月

大阪社会福祉協議会編「大阪府社会事業史」

大化前代―律令制下の布施地方

昭和三七年二月

布施市史編纂委員会編「布施市史」第一卷

古代の狭山地方(史料)

昭和四一年 四月

狭山町史編纂委員会編「狭山町史」第二卷史料編

- | | | |
|--------------------------|----------|-------------------------------------|
| 古代・近世の狭山地方（本文） | 昭和四二年一月 | 狭山町史編纂委員会編『狭山町史』第一卷本文編第一・二・三・四章 |
| 古代の枚方地方（史料） | 昭和四三年三月 | 枚方市史編纂委員会編『枚方市史』第六卷（史料編Ⅰ） |
| 古代の枚方地方（本文） | 昭和四七年三月 | 同『枚方市史』第二卷（本文編Ⅱ）古代編（一部、長山泰孝・坂元義種執筆） |
| 古代の河内長野地方（史料） | 昭和四七年三月 | 河内長野市史編集委員会編『河内長野市史』第四卷 |
| 古代の富田林地方（史料） | 昭和四七年三月 | 富田林市史編集委員会編『富田林市史』第四卷 |
| 古代の仏教（国家仏教の発展、南都六宗と民間仏教） | 昭和四七年一月 | 中村元等編『アジア仏教史日本編』Ⅰ飛鳥・奈良仏教 佼成出版社刊 |
| 古代の岸和田地方（史料） | 昭和五一年三月 | 岸和田市史編さん委員会編『岸和田市史』第六卷 |
| 狭山藩 | 昭和五二年三月 | 兒玉幸多監修『物語藩史』第八卷 新人物往来社刊 |
| 古代の泉大津地方（史料） | 昭和五八年一〇月 | 泉大津市史編纂委員会編『泉大津市史』第二卷 |
| 鑑 真 | 昭和五九年五月 | 太田博太郎等監修『全集日本の古寺』一三 葉師寺・唐招提寺 集英社刊 |
| 古代の富田林地方（本文） | 昭和六〇年三月 | 富田林市史編纂委員会編『富田林市史』第一卷（一部 奥田尚執筆） |